

炎に浮かぶ神楽の舞い、伝統の熱き心が燃えさかる

今回の特別公演は5月14日(月)神社で開催される「薪能」の特別舞台を一足早く利用して夜の星天下にて舞われます。「薪」の明りを中心とした文字通り妖炎な舞台とともに昔なつかしい素朴な公演になるものと思います。ひとときのノスタルジアと広島伝統文化を皆様お誘い合わせの上お楽しみください。

広島護国神社

# 神火の舞



神火(しんか)は神社の境内など聖域で灯される火。「神聖な火の元で舞われる神楽の意」です。

日時: **2007年5月12日(土)** 〈開場〉午後5:00 〈開演〉午後6:00  
〈終演予定時間〉午後9:00

場所: **広島護国神社 特設舞台**

※雨天の場合は儀式殿で行います。  
尚、屋外席によるご鑑賞となりますので雨具等の対策は必ずお客様ご自身でご準備ください。

<b>演出・出演団体</b>	午後6:00~午後6:40	「天の岩戸」	津浪神楽団
	午後6:45~午後7:25	「葛城山」	横田神楽団
	午後7:30~午後8:10	「塵 倫」	津浪神楽団
	午後8:15~午後8:55	「滝夜叉姫」	横田神楽団

### ●入場のお客様へのお願い

■フラッシュ撮影はお断り致します。■主催者の都合による公演中止以外、いかなる場合も払い戻し、再発行は致しません。■お客様への迅速な誘導を促し、混雑を防ぐため入口においてチケットチェックを実施致します。入場、観席、再入場される場合には必ずチケットの半券をご持参いただきますようお願い致します。■夜間は決められた場所でお断り致します。■ベットの入場は固くお断り致します。■会場内で、係員の指示及び注意事項に従わずに生じた事故については、主催者は一切責任を負いません。お客様のご理解、ご協力のご協力をお願い致します。

※駐車場はありませんので、最寄りの公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。

主催:中国放送・RCC文化センター

お問い合わせ先:TEL (082)-222-0044 RCC神楽実行委員会事務局(RCC文化センター内)



全席自由席  
前売券 ¥3,000 当日券 ¥3,500

- 前売券発売所
- ・RCC文化センター ..... 082 (222) 0044
  - ・デオデオ本店 ..... 082 (247) 5111
  - ・アルパーク天満屋 ..... 082 (501) 1745
  - ・福屋広島駅前店チケットサロン ..... 082 (568) 3942
  - ・ひろしま夢プラザ ..... 082 (544) 1122
  - ・千代田ショッピングセンターサウス ..... 0826 (72) 3939
  - ・コムズ安佐パーク ..... 082 (810) 2000

炎に浮ぶ神楽の舞い、伝統の熱き心が燃えさかる。

2007年5月12日(土)  
広島護国神社 特設舞台

※時間は多少前後する場合がございます。

# 神火の舞

## 津浪神楽団 安芸太田町

● 午後6:00～午後6:40

### 天の岩戸 あまのいわと

これは、古事記・日本書紀を基として天照大神(あまてらすおおみかみ)の徳を称え、祭事や神楽の起こりを伝える物語です。太陽である天照大神は、弟・須佐之男命(すさのうのみこと)の乱暴に立腹され、天の岩屋へ籠られます。すると、天も地も常闇(とこやみ)の世界となり、悪神がはびこり、不安な日々が重なりました。天見屋根命(あめのこやねのみこと)を始め、八百万(やおよろず)の神々は相計り天細女命(あめのうずめのみこと)の神楽と手力男命(たちかろうのみこと)の力によって岩戸は開かれ、大神を迎えると世の中は安泰になったのです。



● 午後7:30～午後8:10

### 塵倫 じんりん

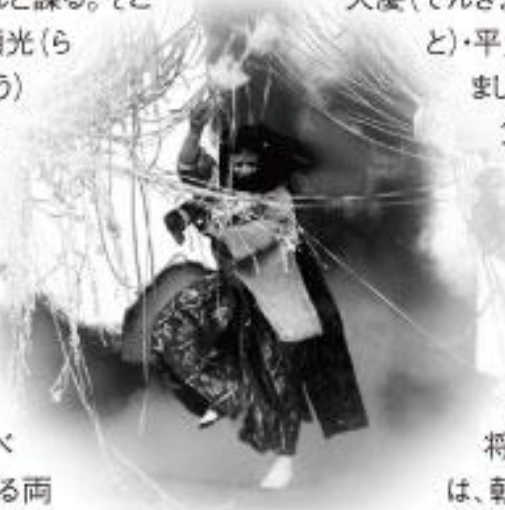
この国に悪災を与える「塵倫」という鬼は、背中に翼を持ち、天空を自由自在に駆け巡ることが出来ました。しかも、神通力を駆使し、戦術にも長けたこの鬼は、数万騎の軍勢を従え、庶民を大いに苦しめました。そこで、時の帝、仲哀天応(ちゅうあいてんのう)は、不思議な霊力を発揮するという弓矢を武器に、この恐るべき敵に戦いを挑んで、見事撃退するという物語です。

## 横田神楽団 安芸高田市

● 午後6:45～午後7:25

### 葛城山 かつらぎざん

時は平安時代・大和国葛城山に年古く住む土蜘蛛(つちくも)の精魂は日本国を意のままにせんと謀る。そこでまず初めに当時の武勇の誉れ高い頼光(らいこう)の命をたたんと侍女・胡蝶(こちょう)を襲い胡蝶になり変り典薬神(てんやくのかみ)の薬といつわり秘薬を飲ませ倒れ臥した頼光を襲う。頼光は枕元にあった膝丸の太刀で防戦。傷を負った土蜘蛛の精魂は葛城山に逃げ去る。頼光はこの太刀を蜘蛛切丸(くもぎりまる)と名付け、四天王・碓井貞光(うすいのみさだみつ)、占部季武(うらべのすえたけ)に渡し、精魂の成敗を命じる兩名は葛城山に向い成敗する。



● 午後8:15～午後8:55

### 滝夜叉姫 たきやしあひめ

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去りました。平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷(さと)、下総の国、猿島(さしま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、朝命を奉じて下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなるが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず無惨に敗れ去っていくという物語です。